

令和5年 病害虫防除指導情報 第6号

作物名：水稲

病害虫名：穂いもち

曇雨天が続き、いもち病の発生に好適な条件が継続しています。
穂いもちに警戒し、出穂直前と穂揃期の適期防除を徹底しましょう。

1 発生状況

- (1) 本田での葉いもちは、鱒ヶ沢町で平年より14日早い6月30日に初発が確認されて以降、県内の複数地点で確認されている。
- (2) BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件は、6月下旬以降各地で連続して出現し（表1）、二次感染も見られるなど発生が拡大している（図1）。例年と比べて穂いもちの伝染源となる葉いもちの発生が多くなると予想されるので、出穂直前と穂揃期の適期防除を徹底する必要がある。

表1 BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件出現状況

地域	地点	6月					7月																			
		26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
東青	青森	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
中南	弘前	-	-	-	●	-	-	-	●	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●
	黒石	-	-	-	●	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西北	五所川原	-	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●
	鱒ヶ沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●
上北	十和田	-	-	△	●	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	●
	三沢	-	-	△	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●
	野辺地	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●
下北	むつ	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-
三八	八戸	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三戸	-	-	●	●	-	●	-	△	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	△	●	-

注) ●は感染好適条件、△は感染好適に準ずる条件。



図1 現地で確認された慢性型病斑（中央）と二次感染による急性型病斑（7月18日）

2 防除対策

- (1) 県内の出穂期は、「つがるロマン」が7月30日～8月10日頃、「まっしぐら」が7月27日～8月8日頃と予想されている（7月5日付け稲作生産情報第5号）。
- (2) 穂いもち防除は予防散布でなければ効果が得られないので、防除適期を失しないよう注意する。

① 茎葉散布剤による防除

- ア 出穂直前と穂揃期の2回散布し、散布間隔は7日程度とする。出穂が長引く場合は、穂揃期に達していなくても出穂直前散布7日後に散布する。
- イ 葉いもちの発生が多い場合や出穂が長引いた場合は、2回目散布の5～7日後にも追加散布する。

② 水面施用剤による防除

(※葉いもちが多発しているほ場では茎葉散布剤による防除を行う。)

- ア 水面施用剤ごとに使用時期が異なるので注意する。

薬剤名	FRACコード [※]	使用時期
フジワン1キロ粒剤	6	出穂25～15日前
サンブラス粒剤	16.3	出穂15～10日前
ゴウケツ粒剤	16.3	
コラトップ粒剤5	16.1	出穂15～5日前
コラトップジャンボP	16.1	

- イ コラトップ剤は、穂いもちの多発が予想される場合には出穂直前と穂揃期の茎葉散布も行う。

【この情報に関する問合せ先】

青森県病害虫防除所
担当：主幹 品川 聖也
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900